

小児医療施設コロナ禍におけるボランティア活動報告「こども病院ボランボラコの会」2021 年 10 月 25 日現在

病院	A こども病院	B こども病院	C こども病院	D こども病院	E こども病院	F こども病院	G こども病院
コロナ禍におけるボランティア活動の制限	8 月 6 日、コロナ感染者の急増にて全ての活動休止。9 月 13 日より外来・手作業等の活動再開。20 日より病棟活動・イベント参加も可。但し、ワクチン 2 回接種と在沖 3 日以上が条件。特にイベント時は 3 日前からの健康チェックを実施して 1 カ月保管する活動自粛の方も、依頼があれば在宅で縫製等を行って届けていただいている。10 月より 60%の方が活動	2020 年 3 月より、病棟及び外来全てのボランティア活動を中止しています。患者と接点のない活動（教材作成のお手伝いや、図書の整理等）から徐々に活動を再開できればと考えていましたが、感染者数の増減が繰り返される中、なかなか再開に踏み切れずにいました。	2020 年 4 月、すべての活動を休止。6 月より患者と接点のない園芸活動と在宅によるソーイング活動のみ再開。2021 年 10 月、ボランティアルームでのソーイング活動やクラフト活動、ミーティングが段階的に認められ再開。院内での活動再開は未定です。	緊急事態宣言・まん防発出時は患者と接する活動（病棟・外来）は中止。発出されていない場合はワクチン接種済みか、3 日以内の検査結果と 2 週間の行動確認で活動可。県の警戒レベルが下がれば「制限なし」のはずだったが上記の条件は求められている。その他の館内に入る活動は宣言発出時はワクチン接種済みを推奨。発出なしなら制限なし。県外ボランティアの訪問はまだ実施していない。	2020 年 2 月からきょうだい預かりは中止・病棟活動も対面の活動はすべて中止・総合待合でのイベントも中止しています。2021 年 10 月緊急事態宣言解除後は、患者図書をはじめ季節飾りや園芸・重心施設での洋服整理・縫製等ほとんどの活動が再開しています。総合待合でのピアノ演奏は再開しています。	外来・園芸・裁縫活動は継続中です。夏休みに再開した「あそびの日」では、オリパラにちなんだゲームを提供したり、マスク用のアロマシールを配布しています。外来の飾りつけや DK 外来の修了証作りなど製作活動が増えてきました。病棟内での活動はすべて停止しています。	ワクチン接種 2 回完了を条件に 10 月より緑のボランティアは活動を再開した。ボランティア通信を発刊し、他のボランティアの再開予定を掲載した。11 月中旬より、人数と時間を短縮して、車椅子点検・こども図書館・案内ボランティアは再開予定である。
変化	従来 6 月に実施している「ボランティア委嘱状授与式」を 10 月 7 日に実施。夏休み工作ができず、キットにして希望者にさしあげた。好評で、現在も継続中。毎月のイベントは感染委員会に確認しながら縮小して開催。病棟活動が出来ない分、手作業が増えて、子ども達へのプレゼントが増えた。喜んでもらえている	現在は、ペーパークラフトの材料を郵送でいただいたり、オンラインでのイベントに参加させていただいたりと方法を変えて活動をお受けしています。ワクチン接種が進んできたので、できるところから（病棟以外など）活動を再開できるよう調整しています。	院内 Wi-Fi がいないため、ボランティアによるオンラインの取り組みはなし。シーズン毎に病棟に手作りカードを配布している。ベッド柵に吊るすタイプにしたところ、長期間飾ってくれていることを知り、クリスマスカードも吊るすタイプ。40 人が分業作業で協力。モチベーションの維持が確認できた。ソーイングの再開を告知したところ、依頼急増。	図書、作業、園芸、飾り付けが活動している。病棟ボランティアも 10 月中旬から人数は少ないが訪問再開。県外ボランティアの訪問はまだ許可されていない。オンラインでの取り組みは外の団体のみ。外部ボラの訪問について病院の受入基準では OK でも受け入れ部署からは見合わせと返事がくる。県外からの訪問は慎重に進めるよう指示されている。	オンラインでの取り組みは、コロナ禍でおよそ 70 回開催しています。内容は歌やマジックや遠足や水族館の中を見るなどのイベントや、夏休み学習支援です。中でも、人家族 10 分程度のお話を 4, 5 組に毎週行い始めたお話は静かに好評です。コロナ禍での変化は、在宅ボランティアがキットを作成し患者さんやごきょうだいに贈る活動は今後も継続予定	ワクチン接種が済んだボラさんが 1 年半ぶりに外来活動を再開してくれたことは本当に嬉しかったです。みんなが「今できることはなにか」を前向きに考えてくれて、さまざまなアイデアが生まれています。つい先日病棟に Wi-Fi が設置されたので、積極的にオンラインイベントを開催していこうと計画中です。	緑のボランティアさんが活動を再開してまだ 4 回だが、草取りや落ち葉掃きをしていただき、病院が本当にきれいになりました。ありがたかったです。
web 会議感想	2 施設の活動紹介 ありがとうございます。ございました。他施設の活動を聞いて、当院でも参考にできることが多くありました。特に園芸の活動はどちらも見事で感心しました。また、同じ課題を持つコーディネーター間で、情報交換しながら課題解決に取り組んでいけたらと切に思いました。改めて、コーディネータの会があることを嬉しく思いました。	コロナの影響で、突然多くのボランティアさんとお会いできなくなりました。ボランティアさんが帰ってきてくださるか、不安に思いながら過ごしていますが、直接お会いできなくてもできることがまだまだあるのだと、2 施設の活動を拝見して思いました。1 人で悩まず、参考にできる会があることを嬉しく思います。今回は本当にありがとうございました。	自分自身のモチベーションが下がっている時期が長く、会議は大変いい刺激になりました。他病院のコロナ禍での活動環境を知ることはここでしかできませんので、今後の自分たちの活動再開を考える参考になりました。ご紹介時の資料は今後の参考にしていきたいと思います。	活動紹介の資料作りではボランティアの活躍を整理するいい機会になった。他施設のコーディネーターの顔が見えて情報交換できることは一人でないと実感できて嬉しい。活動中止の時期があったことにより再開後の依頼が少なくなってしまったが、他施設がボラにどんな依頼をしているのか活動例を院内に紹介してほしいと求められている。この会が周知されることも嬉しい。	今回 2 施設のボランティアコーディネーターからの報告があり、質疑応答がありました。あらためてそれぞれの違いはあるが、違いを理解したり、自施設の状況を再確認する機会になりました。次回は、「ボランティアコーディネーターの仕事の見える化」をどのようにしているかについて情報交換していきたいと思いました。	コロナ禍はコーディネーターの孤立化をさらに深めたように感じていました。でも、今回も他施設の活動報告から刺激を受け、反省し、新たな一步を踏み出す勇気をいただきました。各施設のクリスマスイベントのご報告、楽しみにしています。埼玉もいい報告ができるようがんばります。	これまで当たり前のことと思っていましたが、自分の病院が開院からずっと変わらずボランティアを大切に思っていてくれることがわかってよかったです。